

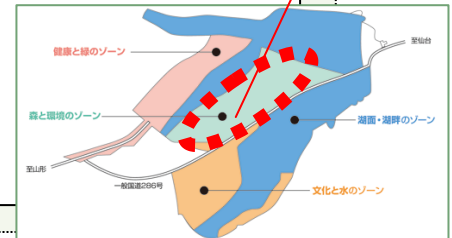


みちのく森の楽校がより 第4回

みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



里山地区

7月25日(土) 夏本番！

第4回「森の楽校」は、夏休みに入ってすぐの土曜日。うだるように暑い一日でした！小野分校脇の小さな畑でいろいろな野菜を収穫をして、それをカマドで調理して、お昼にしました。山で収穫したコウソの実のシロップを使って、かき氷も！夏ならではの楽しみです。

夏野菜を収穫しました

小野分校脇に作った小さな畑。いろいろな野菜を植えています。

今日はジャガイモを収穫しました。2畝の小さなジャガイモ畑です。こぶし大のジャガイモ、ビー玉くらいのジャガイモ、いろいろな大きなの不揃いなジャガイモが収穫できました。さっそく、カマドで茹でて試食しました。

夏野菜はプランター。今年は春の日照りで、最初に植えた苗は枯れてしまい、植え直しました。その後は、なんとか育っています。今日は、キュウリ、ナス、トマトが収穫できました。

仙台雪菜のこぼれ種からまた芽が出てきました。その雪菜も収穫しました。

収穫した野菜を使って、今日のメニューは、キュウリの冷汁、キュウリの漬物、ナスと雪菜の味噌炒め。夏を味わいました。



ジャガイモ収穫



夏野菜いろいろ

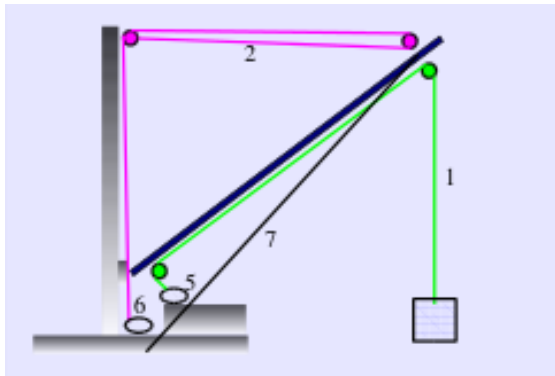


コウソの実のかき氷

デリック

現在、活動で、ミニログハウスを作っています。丸太材を加工して、それを積み上げていくのですが、ある程度の高さになると、人力だけでは持ちあげられません。

そこでデリックを作ることにしました。デリック(英:derrick)は、本体とは別に設置された原動機付のウインチ(巻上機)からワイヤを介して本体ブームの上げ下げや旋回を行うことで稼動する機械装置のこと。



伐倒したヒノキを軸にして、スギの木に固定し、ロープを使ってつくりました。丸一日かかりました。試しに重い丸太材を持ちあげてみました。見事、持ちあげられました！

初めての包丁



自分で収穫した野菜は、自分で調理しよう！チビっ子が生まれて初めて包丁を持ったのです！

お父さんに手伝ってもらいながら、慎重に、丁寧に、ナスとキュウリを切りました。

自分で作った料理はおいしいね！



梅干しづくり

里山では、公園で収穫した梅を使って、梅干しづくりをしています。7月上旬に梅を漬けて、今日は、色付けの赤シソを入れます。

赤シソの葉をとり、よく洗い、両手でギュッギュッとよくもみ、黒っぽいアクがでたらギュ〜ッと絞ってアクを捨てます。けっこう、大変な作業です。

漬けた梅を赤シソで覆うようにして、保管しておきます。梅がだんだん赤く染まっていきます。



次回、第5回「森の楽校」は8月22日(土)、夏休みの終わりです。単発での参加も受け入れます。